

1. 件名：関西電力(株)大飯発電所第3号機加圧器スプレイライン配管の分析調査に係る面談

2. 日時：令和2年11月25日 16時00分～16時45分

3. 場所：原子力規制庁2階打合せスペース（TV会議システムを利用）

4. 出席者

原子力規制庁原子力規制部 検査グループ 専門検査部門

杉本安全規制管理官、高須統括監視指導官、嶋崎管理官補佐、滝吉企画調査官、中田上席原子力専門検査官、森田主任原子力専門検査官、柏木検査技術専門職

原子力規制庁技術基盤グループ システム安全研究部門

河野主任技術研究調査官、菊池技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 安全研究・防災支援部門

鬼沢企画調整室長

関西電力(株)

大飯発電所 副所長 他15名

5. 要旨

○関西電力(株)から、大飯発電所3号機の加圧器スプレイライン配管に係る非破壊検査等による分析調査の結果について、資料に基づき説明を受けた。

○原子力規制庁は、関西電力(株)からの説明に対し、以下を伝えた。

- ・外面からのUTでは、亀裂が溶接金属を横切る結果を示していたが、亀裂断面PTでは、亀裂は深さ方向にほぼ垂直となっている。UTでこのような結果を示した原因を考察すること。
- ・試料②cについて、側面に対するエッチングにより溶接部の形状等を観察すること。
- ・溶接ビード幅が7～8mm程度あるが、これは初層がTIG溶接の心線1.6mmに対して大きく感じる。公開会合で説明のあったモックアップにおいても3mm程度となっており、実機のビード幅が大きくなっていることを考察すること。
- ・試料①、③を破面開放する際は、亀裂端部を確認出来るように慎重に調査すること。

○関西電力(株)からは了解した旨の回答があった。また、分析調査は今週木曜までに終了し、来週中に考察をまとめる予定である旨報告があった。

6. その他

資料：大飯発電所3号機加圧器スプレイライン配管の分析調査の状況について
(非破壊検査等の結果)